

三島中だより 7月号

ゆめ はぐく えがお あ あい がっこう
夢を育み、笑顔に会える、愛いっぱい为学校 茨木市立三島中学校

三島中学校がめざす生徒像

自律・友愛・創造



だんてらいおん

心を結び、繋がりをつくる。

2年学年通信(52期生)
発行所: 茨木 三島
発行日: 令和5年4月10日
茨木市立三島中学校

より

三島中学校
学年通信
発行所: 茨木 三島
発行日: 2023.4.10.
2号

Friendship

より

ただ無邪気に楽しむばかりではなく、必要なことはなにか。自分たちに何ができるのか。「どうなるだろう」ではなく「どうしてだろうか」の気持ちを持ってください。これから始まる2年生での経験を通して53期の皆さんがどのように進化していくのか、私は今から楽しみにしています。人生はいろんなことに挑戦できる。少しでも興味があることはどんどんチャレンジしていきましょう。挑戦することから全てが始まります。うまくいかなかったらよく考えて次につなげればよいのです。

7日のクラス発表では、新しいなかと出会いましたね。喜び、期待、不安、寂しい... 悲喜こももどしたか、ここで一つ、みなさんに紹介したい言葉があります。それは「いちや」は「ちょうでー」。これは、沖縄の言葉で、漢字に直すと、「行逢りは兄弟」、意味は「一度会えば兄弟」です。たぶん偶然同じ場所に居合わせるとしても、せめて一緒にいたのなら、楽しい兄弟のように打ち解けたり、助け合おうという心だと思います。今回同じクラスになった人たちともいっしょに「ちょうでー」の出会いを大切に少しづつ温かい家族のようなクラスにしていきたいと思います。

7月21日から夏休みです

夏休みの一カ月あまり、特に3年生にとっては進路選択・開拓に向けた大切な夏休みになります。次のことを大切にして、充実した夏休みになるよう努めましょう。



規則正しい生活を送る



夏休みは、ともすると、だらだらした生活になりがちです。毎日の生活設計をきちんと立て、規則正しい生活ができるようにしてください。計画的に学習に取り組みながら、提出物をしっかり仕上げるとともに、部活動など定められた活動にもきちんと参加し、充実感のある夏休みにしましょう。

自分なりの目標を明確に定め、自ら工夫する努力が必要です

目標を達成するためには、工夫する努力が不可欠です。目標を持っても、そのための積み重ねがなかなかできないという人も多いのではないのでしょうか。



目標を達成できない人の多くが、「やる気が出ない」という理由をあげています。

「やる気が出ないからできない」と言って、何もしないのはよくありません。やる気が出ないのなら、やる気をだせるように工夫する必要があります。やる気は自分で意識して出すことが可能です。そのための方法もいろいろあります。



たとえば『目的意識を明確にする』『達成の魅力を感じる』『今できることをやる』『愉しんでやる』『集中と休憩を交互にする』『やる価値を考える』などさまざまな方法が考えられます。

しかし、大事なことは自分で工夫してみることでないのでしょうか。何かを読んで得た知識や、人に教えてもらったことを、一度やってみてできないと、「役に立たない」と考えてしまいがちです。ですが、本当は、そこから自分の工夫が始まるのです。様々なものを参考やヒントにして、自分で考えて工夫することが大切なのです。

自分に合うようにアレンジできるのは自分だけです。自分なりのやる気を出す方法をいくつか身につけることができれば、その方法がいちばん自分には役に立つのです。自分でアイデアを出して工夫する努力を身につけていきましょう。この習慣は、必ず、今後のために役に立ちます。

保護者の皆さまへ

日中は気温が30℃前後まで上昇する日も多くなりました。熱中症への対応も必要になっています。熱中症の原因は、気温・湿度の状況だけでなく、睡眠時間や食生活にも関係していると言われています。マスクの着脱についての声かけとともに、規則正しい生活を送ることへの注意をよろしくお願いします。